

全国産業安全衛生大会

—皆でつなごう 安全と健康を守る日本の現場力—

12年ぶりに名古屋で開催

内山田竹志・トヨタ自動車(株)会長が特別講演

中央労働災害防止協会（会長 さかきばらさだゆき 榊原定征・（一社）日本経済団体連合会会長）（注）は、本年 **10月28日（水）から30日（金）までの3日間**、愛知県体育館、名古屋国際会議場、ほか名古屋市内各会場で、「**第74回 全国産業安全衛生大会**」（別添1）を開催します。

本大会は、昭和7年の第1回開催以来、わが国の事業場の経営者、産業安全・労働衛生スタッフ、管理・監督者、産業保健スタッフなどの働く職場の安全衛生に関わる関係者約1万2千人が地元愛知県をはじめ全国から参集し、産業現場でのゼロ災害をめざし、犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにす国内最大の安全衛生イベントで、今年で74回目を迎えます。

名古屋では2003年（平成15年）の開催以来、12年ぶりの開催となります。

併せて、本大会の会期中「**緑十字展2015 働く人の安心づくりフェア**」（別添2）を開催します。

（注）中央労働災害防止協会（以下 略称「中災防」）は、昭和39年に労働災害防止団体法に基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、「企業の人材の育成」、「安全衛生の専門技術の提供」、「最新安全衛生情報の提供」などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。



中央労働災害防止協会 教育推進部長 角元利彦

【照会・取材先】

中央労働災害防止協会 総務部 上席専門役 間宮直樹
（電話）03-3452-6542 （FAX）03-3452-9225
（E-mail） koho@jisha.or.jp

第 74 回(平成 27 年度) 全国産業安全衛生大会 開催要領

【目的】 全国各事業場における産業安全、労働衛生の関係者が一堂に集い、労働安全衛生にかかる功績者に対する表彰等を行う式典や事業場からの研究発表、最新の安全衛生の課題に対応した講演等を通じて産業安全、労働衛生の推進向上を図り、もって労働災害防止に寄与する。

【主催】 中央労働災害防止協会

【協力】 公益社団法人愛知労働基準協会

【協賛】 (予定)
建設業労働災害防止協会
陸上貨物運送事業労働災害防止協会
港湾貨物運送事業労働災害防止協会
林業・木材製造業労働災害防止協会

【後援】 (予定)
厚生労働省、経済産業省、環境省、警察庁、愛知県、名古屋市、ILO 駐日事務所、一般社団法人中部経済連合会、愛知県経営者協会、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、愛知県中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、公益社団法人愛知県医師会、愛知県社会保険労務士会

【開催地】 愛知県名古屋市

【会期】 平成 27 年 10 月 28 日(水)～30 日(金) <3 日間>

【会場】 ・総合集会(平成 27 年 10 月 28 日(水))：愛知県体育館
・受賞者を囲む会：(平成 27 年 10 月 28 日(水)) 名鉄グランドホテル
・分科会(平成 27 年 10 月 29 日(木)、30 日(金))：名古屋市国際会議場ほか名古屋市内各会場

【参加対象者】 全国各事業場における産業安全、労働衛生の関係者

【参加予定数】 約 12,000 名

【参加費】 一般：12,900 円 中災防賛助会員：6,400 円

【特別講演】

全国産業安全衛生大会
の第一日目（10月28日
（水））の総合集会では、
トヨタ自動車株式会社・
内山田竹志取締役会長に
よる特別講演が予定され
ています。



内山田竹志・トヨタ自動車株式会社 取締役会長

第74回 全国産業安全衛生大会 総合集会・各分科会の構成

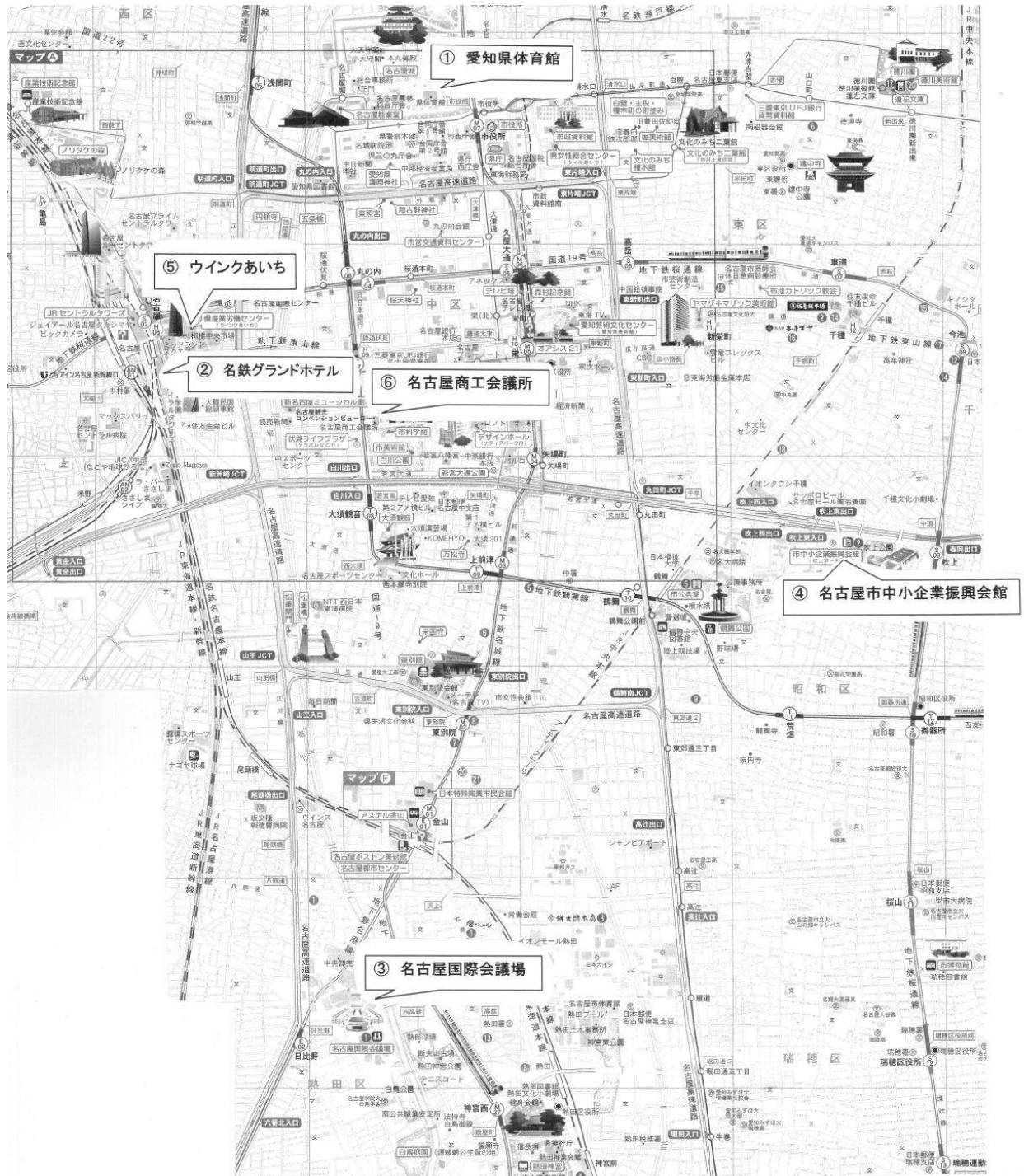
期 日	各分科会	内 容
10月28日(水)	総合集会	<ul style="list-style-type: none">・開会式、功績者への表彰式、大会宣言、中間体操・講演：厚生労働省労働基準局・特別講演：トヨタ自動車(株)取締役会長内山田竹志
10月29日(木) ～30日(金) (各分科会の 会場について は調整中)	リスクアセスメント／マ ネジメントシステム分科 会	<ul style="list-style-type: none">・労働安全衛生マネジメントシステムの導入、定着事例。・企業におけるリスクアセスメント事例。OSHMS(※) のISO規格化等
	安全管理活動分科会 (第1、第2、第3会場)	<ul style="list-style-type: none">・安全管理、職場安全活動の推進事例・作業方法、作業手順等の改善事例等
	機械・設備等の安全分科 会	<ul style="list-style-type: none">・機械・設備に関するリスクアセスメント事例・機械・設備の安全対策（はさまれ・巻き込まれ、切れ・ こすれ、墜落・転落）等
	安全衛生教育分科会	<ul style="list-style-type: none">・企業内安全衛生教育、安全（危険）体感教育の事例・派遣・請負の安全衛生教育事例等
	労働衛生管理活動分科会	<ul style="list-style-type: none">・職場の作業環境管理、作業管理、健康管理に関する事例等
	化学物質管理分科会	<ul style="list-style-type: none">・化学物質に関するリスクアセスメントによる健康障害防 止、爆発火災防止の事例等
	ゼロ災運動分科会	<ul style="list-style-type: none">・全社一丸となってゼロ災運動を推進している事例・KYTや指差し呼称を日々の安全作業の中で展開してい る事例等
	交通安全分科会	<ul style="list-style-type: none">・構内・構外の交通事故防止対策事例・業務中・通勤時の安全運転対策事例等
	メンタルヘルス／健康づ くり分科会	<ul style="list-style-type: none">・職場メンタルヘルス対策に関する事例・メンタルヘルス不調者の職場復帰支援に関する事例。職 場の健康づくり活動に関する事例等
	第三次産業分科会	<ul style="list-style-type: none">・第三次産業における安全衛生活動の事例等
中小事業場分科会	<ul style="list-style-type: none">・中小規模事業場における安全衛生活動の事例等	

(※)：OSHMS：Occupational Safety and Health Management System（労働安全衛生マネジメン
トシステム）の頭文字をとったもの。

りょくじゅうじてん
緑十字展2015
一働く人の安心づくりフェア 開催要領

- 【目的】 安全衛生保護具や作業環境改善機器等の展示を通じて、職場における安全衛生水準の向上を促進し、労働災害のない、働く人の心身両面にわたって健康で快適な職場環境の形成に寄与する。
- 【内容】 安全と健康の確保に係る機械・機器、安全衛生保護具、職場環境改善、作業方法改善、健康増進・リフレッシュ関連分野など、広範な分野の最新の機器、設備、情報について約 90 社が出展する。
- 【主催】 中央労働災害防止協会
- 【協力】 公益社団法人愛知労働基準協会
- 【協賛】 (予定)
日本労働災害防止推進会
一般社団法人中部経済連合会
愛知県経営者協会
愛知県商工会議所連合会
愛知県商工会連合会
愛知県中小企業団体中央会
- 【後援】 (予定)
厚生労働省、経済産業省、愛知県、名古屋市、NHK名古屋放送局、日本労働組合総連合会愛知県連合会、公益社団法人愛知県医師会、愛知県社会保険労務士会ほか
- 【開催地】 愛知県名古屋市
- 【会場】 名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）
- 【会期】 平成 27 年 10 月 28 日（水）～30 日（金）＜3 日間＞
- 【出展分野】 (1)安全衛生関連分野 (2)職場環境改善関連分野 (3)作業方法改善関連分野 (4)健康増進・リフレッシュ関連分野 (5)防災関連、地球環境保全・温暖化対策、リサイクル関連分野 (6)その他
- 【来場数見込】 15,000 名
- 【参加対象者】 全国産業安全衛生大会参加者、地元事業場の経営首脳及び安全衛生・環境保安・人事・労務担当者、産業医、保健師、衛生管理者、自治体の安全衛生担当者、工業系の大学・専門学校、工業高校等の教職員・学生等
- 【入場料】 無料

第74回 全国産業安全衛生大会 in 名古屋 会場案内図



(注)

「②名鉄グランドホテル」において、安全衛生推進に功績のあった受賞者を囲む会が開催される。

第74回 全国産業安全衛生大会 in 名古屋 今後の予定

- 4月 ・ 総合集会プログラム、分科会構成、シンポジウム決定
 - ・ 講師依頼
- 5月 大会案内書・申込書の完成（下旬）
- 6月 大会参加申込み受付開始（6/1）
- 7月 第2回実行委員会の開催（下旬）
- 9月 大会研究発表集の完成（下旬）
- 10月 **全国産業安全衛生大会開催（10/28～30）**

大会開催に係る各内容が決定次第、順次資料配布等をさせていただきます。

全国産業安全衛生大会の 誕生とあゆみ

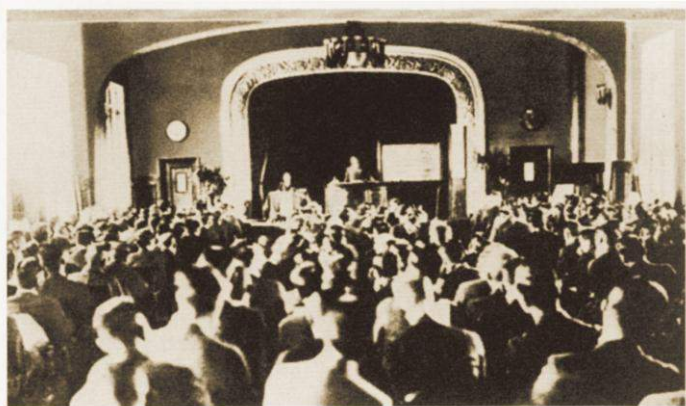
◆ 昭和7年、第1回『全国産業安全大会』 東京で開催

第1回の全国産業安全大会が、(財)産業福利協会の主催により、1932年(昭和7年)11月21日から3日間、東京・神田の学士会館で開催され、300人を超える人たちであふれた。

安全運動の先駆者・蒲生俊文の司会のもと、“同志が集う”会場には熱気があふれ、互いに手を取り合って安全運動を推進していこうとする連帯ムードが高まった。

大会の目的の一つである「連帯」は十分に果たされたが、それにも増して注目されるのは、その後ひたむきに継続されることとなる安全対策への「科学の導入」といえるものであった。

それは、「人間とは何か」にメスを入れ、人間の持つ弱点をカバーする方策に取組もうとする科学的姿勢が、企業の中に生まれつつあることを示したものであった。



盛況な第1回全国産業安全大会(昭和7年11月 東京・学士会館)

◆ 昭和29年、第1回『全国労働衛生大会』 東京で開催

1954年(昭和29年)10月14、15日の2日間、東京の読売ホールにおいて、全国から1,300人の主に労働衛生管理に携わる関係者が集い、第1回の全国労働衛生大会が開催された。

北は富士製鉄(株)室蘭製鉄所から南は旭化成(株)延岡工場まで、いずれも衛生管理の進んだ事業場からの発表であった。結核、鉛中毒、けい肺などの予防に関する報告が目立った。

◆ 昭和44年に『安全大会』と『労働衛生大会』が一本化されて『全国産業安全衛生大会』に

昭和42年の東京大会は、労働基準法施行20周年記念大会として初めて安全、衛生両大会の合同開催となり参加者は13,000人を数えた。



全国産業安全衛生大会・総合集会

翌々の1969年(昭和44年)には、現在の「全国産業安全衛生大会」の、原型が生まれ内容を拡充するとともに、「緑十字展」を盛大に開催することとなった。

2003年(平成15年)の名古屋開催では、全国から12,000人の安全衛生関係者が集い安全衛生の推進を誓い合った。



総合集会・災害ゼロへの誓い

「緑十字展」も名古屋で併催

◆ 緑十字展とは

安全衛生保護具、機械の本質安全化にかかる機器、職場環境・作業方法の改善機器、健康増進機器等の展示や装着体験セミナー等を通じて、職場の安全衛生を普及・促進し、労働災害の防止、働く人の心身両面にわたって健康で快適な職場環境づくりに関する安全と健康の最新情報と技術をご紹介しますわが国最大の展示会である。



緑十字展 2013 in 大阪 (2013年・大阪)

◆ 第1回緑十字展は昭和43年、安全会館(東京都港区)

1968年(昭和43年)9月30日から10月7日にかけて、東京都港区の安全会館および同会館前広場において、全国労働衛生週間にあわせて開催された。

翌1969年(昭和44年)の名古屋市で開催の全国産業安全衛生大会から、毎年同時開催するようになり現在に至っている。



墜落衝撃実験



安全衛生保護具体験道場

参考資料:「安全衛生運動史・安全専一から100年」(中災防発行)
「日本労働災害推進会のあゆみ」(日本労働災害推進会発行)

皆でつなごう 安全と健康を守る日本の現場力

2015

in

名古屋



徳川家康

織田信長

豊臣秀吉

第74回

全国産業安全衛生大会

開催期間 平成27年 **10月28日(水) → 30日(金)**

会場 **総合集会：10月28日 愛知県体育館**
分科会：10月29日、30日

名古屋国際会議場、名古屋市中小企業振興会館ほか

特別講演 トヨタ自動車(株) 取締役会長 **内山田 竹志氏 (総合集会)**

同時開催

入場無料

緑十字展2015 in 名古屋
～働く人の安心づくりフェア～

期日 **10月28日(水) → 30日(金)**

会場 **名古屋市中小企業振興会館 (晚上ホール)**

お問合せ先：中央労働災害防止協会 教育推進部 企画課 TEL：03-3452-6402 <http://www.jisha.or.jp/>

主催：中央労働災害防止協会 協力：(公社)愛知労働基準協会

JISHA 中災防